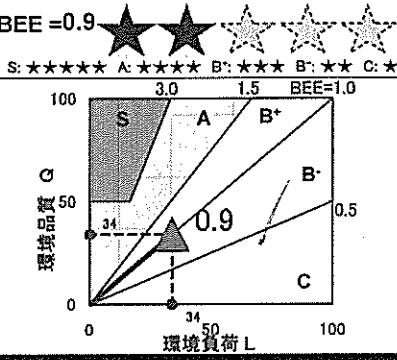
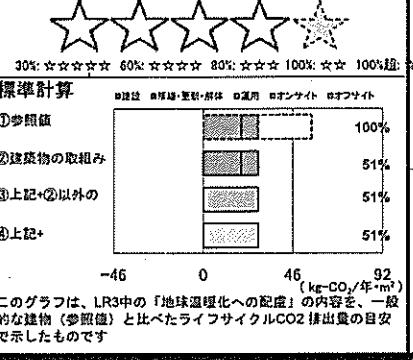
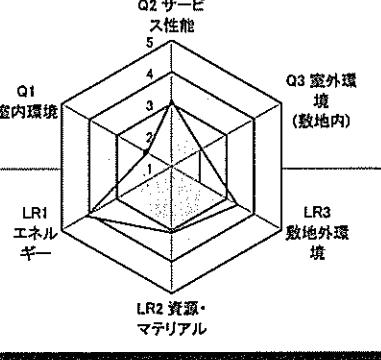
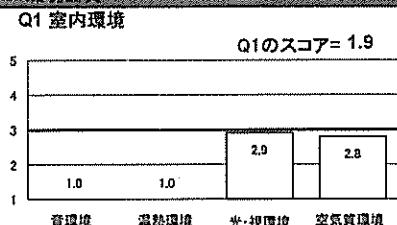
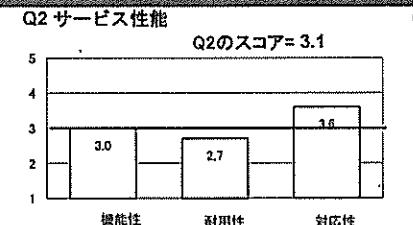
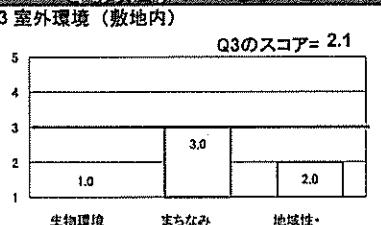
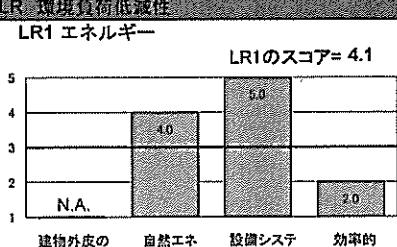
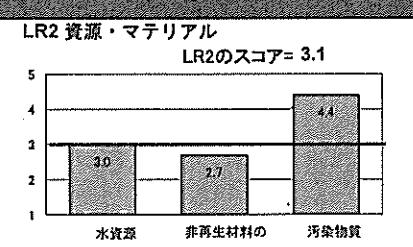
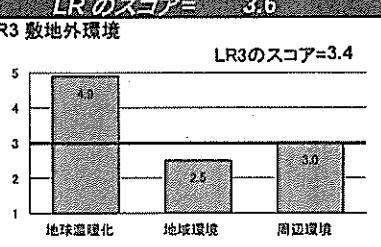
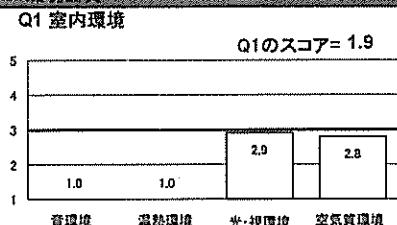
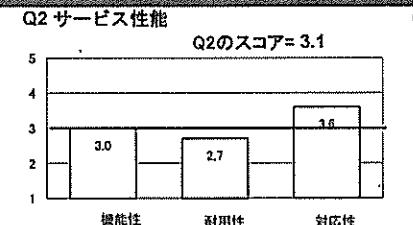
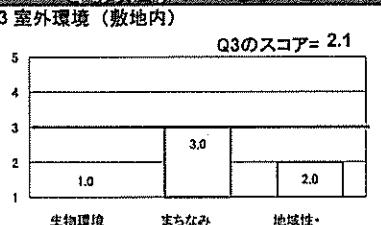
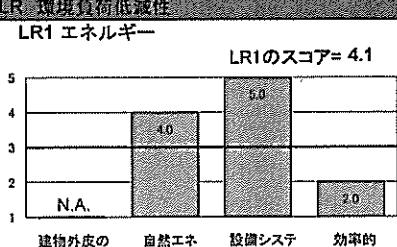
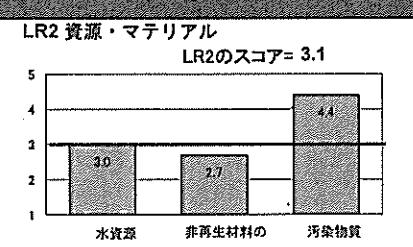
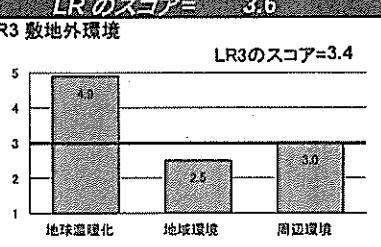
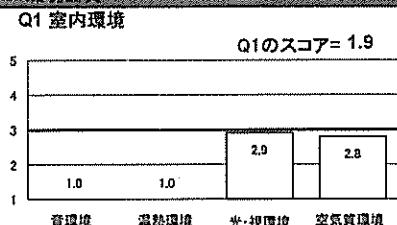
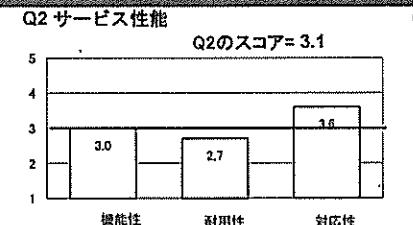
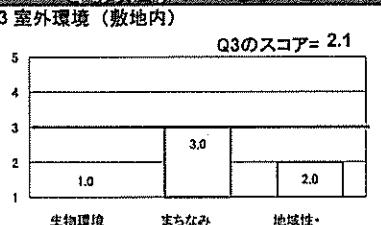
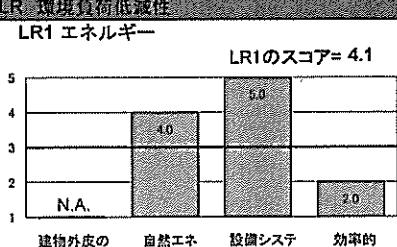
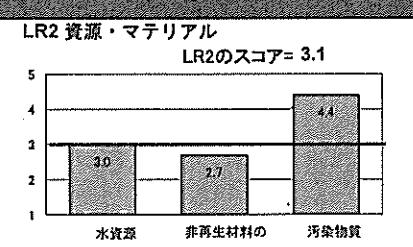
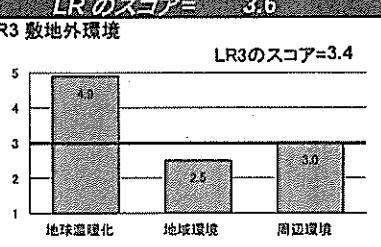


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称 (仮称)松井アーキメタル舞鶴工場新	階数 地上1F 構造 S造	外観バース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建設地 京都府舞鶴市	平均居住人員 10人 年間使用時間 2,000時間/年(想定値)	
用途地域 工業専用地域、法第22条地域	評価の段階 実施設計段階評価	
地域区分 5地域	評価の実施日 2018年11月22日	
建物用途 工場	作成者 牧野 研造	
竣工年 2019年9月 予定	確認日 2018年11月22日	
敷地面積 3,823 m ²	確認者 牧野 研造	
建築面積 2,152 m ²		
延床面積 2,132 m ²		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)																																								
BEE = 0.9 ★★★★☆	S: ★★★★★ A: ★★★★☆ B: ★★★ B+: ★★ C: ★	30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆	Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1 室内環境 LR1 エネルギー LR3 敷地外環境 LR2 資源・マテリアル																																								
																																											
<p>2-4 中項目の評価(バーチャート)</p> <p>Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q4 のスコア= 2.3</p> <table border="1"> <tr> <td>Q1 室内環境</td> <td>Q2 サービス性能</td> <td>Q3 室外環境(敷地内)</td> <td>Q4 のスコア= 2.3</td> </tr> <tr> <td>Q1のスコア= 1.9</td> <td>Q2のスコア= 3.1</td> <td>Q3のスコア= 2.1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>LR1 環境負荷低減性 LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 LR4 のスコア= 3.6</p> <table border="1"> <tr> <td>LR1 エネルギー</td> <td>LR2 資源・マテリアル</td> <td>LR3 敷地外環境</td> <td>LR4 のスコア= 3.6</td> </tr> <tr> <td>LR1のスコア= 4.1</td> <td>LR2のスコア= 3.1</td> <td>LR3のスコア= 3.4</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>3 設計上の配慮事項</p> <table border="1"> <tr> <td>総合</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>本工場は従来のノコギリ型屋根工場を再解釈し、北向きハイサイドライトを8箇所設ける計画とし、自然採光・自然換気を積極的に行うよう配慮している。外壁の一部にもポリカーボネート折板を設け、自然利用を行うことで省エネルギーに配慮している。また、工場の多い場所であることから、交通状況や既存のまちなみにも配慮している。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Q1 室内環境</td> <td>Q2 サービス性能</td> <td>Q3 室外環境(敷地内)</td> </tr> <tr> <td>北側に向けたハイサイドライトを8ヶ所設けることで、安定した北側からの採光を行えるよう配慮した。ハイサイドライト部分のサッシは一部開閉可能とし、自然換気を行い、換気エネルギーの低減に配慮した。</td> <td>工場はゆとりのあるスペースを確保し、安全に生産活動が行えるよう配慮している。床は機械の電源・コードができるだけ露出しないよう適切な間隔でビットを設け、後の搬送レイアウトの変更にも対応できるよう配慮して</td> <td>工場が多く点在する場所であるため、まち並みに合わせた概観計画とした。北向きのハイサイドライトは従来のノコギリ型屋根の工法と近くなるよう意図し設計している。</td> </tr> <tr> <td>Q4 エネルギー</td> <td>Q5 サービス性能</td> <td>Q6 室外環境(敷地外)</td> </tr> <tr> <td>ハイサイドライトによる自然採光、自然換気ができるよう配慮した。</td> <td>節水型便器を採用した。内蔵を必要としない工場のため、極力外装材あらわしとし、省資源に配慮した。</td> <td>ゆとりのある車回しスペースや駐車場を設けることで、利用しやすさおよび近隣の交通状況に配慮した。全館空調を行わず、省エネルギーに配慮した。</td> </tr> </table>				Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q4 のスコア= 2.3	Q1のスコア= 1.9	Q2のスコア= 3.1	Q3のスコア= 2.1						LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR4 のスコア= 3.6	LR1のスコア= 4.1	LR2のスコア= 3.1	LR3のスコア= 3.4						総合	その他	本工場は従来のノコギリ型屋根工場を再解釈し、北向きハイサイドライトを8箇所設ける計画とし、自然採光・自然換気を積極的に行うよう配慮している。外壁の一部にもポリカーボネート折板を設け、自然利用を行うことで省エネルギーに配慮している。また、工場の多い場所であることから、交通状況や既存のまちなみにも配慮している。		Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	北側に向けたハイサイドライトを8ヶ所設けることで、安定した北側からの採光を行えるよう配慮した。ハイサイドライト部分のサッシは一部開閉可能とし、自然換気を行い、換気エネルギーの低減に配慮した。	工場はゆとりのあるスペースを確保し、安全に生産活動が行えるよう配慮している。床は機械の電源・コードができるだけ露出しないよう適切な間隔でビットを設け、後の搬送レイアウトの変更にも対応できるよう配慮して	工場が多く点在する場所であるため、まち並みに合わせた概観計画とした。北向きのハイサイドライトは従来のノコギリ型屋根の工法と近くなるよう意図し設計している。	Q4 エネルギー	Q5 サービス性能	Q6 室外環境(敷地外)	ハイサイドライトによる自然採光、自然換気ができるよう配慮した。	節水型便器を採用した。内蔵を必要としない工場のため、極力外装材あらわしとし、省資源に配慮した。	ゆとりのある車回しスペースや駐車場を設けることで、利用しやすさおよび近隣の交通状況に配慮した。全館空調を行わず、省エネルギーに配慮した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q4 のスコア= 2.3																																								
Q1のスコア= 1.9	Q2のスコア= 3.1	Q3のスコア= 2.1																																									
																																											
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	LR4 のスコア= 3.6																																								
LR1のスコア= 4.1	LR2のスコア= 3.1	LR3のスコア= 3.4																																									
																																											
総合	その他																																										
本工場は従来のノコギリ型屋根工場を再解釈し、北向きハイサイドライトを8箇所設ける計画とし、自然採光・自然換気を積極的に行うよう配慮している。外壁の一部にもポリカーボネート折板を設け、自然利用を行うことで省エネルギーに配慮している。また、工場の多い場所であることから、交通状況や既存のまちなみにも配慮している。																																											
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)																																									
北側に向けたハイサイドライトを8ヶ所設けることで、安定した北側からの採光を行えるよう配慮した。ハイサイドライト部分のサッシは一部開閉可能とし、自然換気を行い、換気エネルギーの低減に配慮した。	工場はゆとりのあるスペースを確保し、安全に生産活動が行えるよう配慮している。床は機械の電源・コードができるだけ露出しないよう適切な間隔でビットを設け、後の搬送レイアウトの変更にも対応できるよう配慮して	工場が多く点在する場所であるため、まち並みに合わせた概観計画とした。北向きのハイサイドライトは従来のノコギリ型屋根の工法と近くなるよう意図し設計している。																																									
Q4 エネルギー	Q5 サービス性能	Q6 室外環境(敷地外)																																									
ハイサイドライトによる自然採光、自然換気ができるよう配慮した。	節水型便器を採用した。内蔵を必要としない工場のため、極力外装材あらわしとし、省資源に配慮した。	ゆとりのある車回しスペースや駐車場を設けることで、利用しやすさおよび近隣の交通状況に配慮した。全館空調を行わず、省エネルギーに配慮した。																																									

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフケーブルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフケーブルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される